

採 択 理 由

採択地区名【 尾 張 東 部 】

種 目 名	国 語	採択替えの有無	有 ・ ☐ 無
発 行 者 名	光村図書	従来の発行者名	光村図書

1 学習指導要領との関連

- 主体的に学習に取り組むための方法や教科書の機能が明確に示されている。合意形成に向けた話し合いの仕方等を教材として取り上げ、対話の力を築くための工夫がなされている。情報とSDGsが関連付けられた教材では、社会の問題を自分のこととして捉えるとともに、課題解決に挑む力を育むことができる。

2 「あいちの教育の基本理念」との関連

- 時代に即した新しい学びの形がどの学年でも分かりやすく示されており、ICTをどの場面で利用するのが効果的なのか、把握しやすいよう工夫されている。どの活動で自らを高めることができるのかが明確で、見通しをもって学習に向かう構成となっている。

3 内容

(1) 内容の選択

「学びへの扉」や「学びのカギ」で学習の流れやポイントを示すとともに、教科横断的な教材により多様な解釈を引き出し、主体的な学び、課題解決能力の向上を図る工夫がされている。また、巻末資料等で基本的な観点が「学びのカギ」一覧としてまとめられ、身につけた力を確認するとともに、知識及び技能の定着や、思考力・判断力・表現力等が育めるよう配慮されている。

(2) 内容の程度

「学びのカギ」で目指すべき資質・能力が図解され、発達段階や系統性に配慮している。また、言の葉ポケットや語彙ブックなどの言葉に関する資料により、語彙力を高める工夫がされている。全体は「本編」「学びを深める」「資料編」の3部から成り、学習の持続性を考慮し、軽重をつけバランスよく配列されている。

(3) 内容の構成

我が国の言語文化を学ぶことができる教材が各学年豊富に用意され、発達段階に応じて系統的に配列されている。デジタルコンテンツには、語彙ブックや朗読音声、「国語の力試し」の発展問題等が設定され、主体的に学ぶための工夫となっている。読書指導についても、各学年2か所に設定された読書単元を通じ、読書習慣の充実が図れるような構成となっている。

4 表記・表現及び使用上の便宜等

- (1) 「学びへの扉」は、学習の流れと、ポイントである「学びのカギ」がひと目でつかめるよう示されており、主体的な学びへとつながる工夫がされている。
- (2) 教材のはじめに目標が提示されており、3領域のいずれの活動かを把握しやすい。
- (3) 「学習の見通しをもとう」では、各活動でどんな力を身に付けるか分かりやすい。
- (4) 資料、図表、挿絵等は、理解を助けるものとして、効果的に配置されている。
- (5) 「季節のしおり」では、和語や四季の言葉等、美しい日本語に触れられている。

5 印刷・造本等

- (1) 3領域共通の紙面構成がされており、全体的に柔らかな色彩でまとめられている。
- (2) 図表は、濃淡や地紋でも識別でき、色に頼らない配慮がされている。
- (3) 視認性のよいフォントを利用し、用紙はクリーム色がかっており見やすい。